

鶴川から市民病院に直行バスを

池川友一(日本共産党)

鶴川地域から市民病院に直行(シャトル)バスの実現を求めるがどうか。

市民病院総務部長 現在、市民病院駐車場整備事業において「まちっこ」の停留所を病院正面入り口付近に設けることができるように準備をしています。

国民健康保険の資格証明書(窓口の一〇割負担)を中止すべきと考えるがどうか。

いきいき健康部長 資格証

明書は、特別な事情がないにもかかわらず国民健康保険税を納付されない世帯に対して税の公平性、公正性を確保する観点から交付するものです。

中学校三年生までの医療費完全無料化をすべきと考えるがどうか。

子ども生活部長 現在のところ、義務教育就学児医療費助成制度の助成拡大に関しては考えていません。



市民病院正門バス停付近

ごみ収集力レンダーの作成を！

あさみ美子(公明党)

市民が見て解り易いごみ収集力レンダーの作成を。

驚北副市長 早い時期に見直しをしていく方向で実施していきたいと思っています。

防災行政無線の聞き取り難い地域の解消と、老朽化した家庭用消火器の処分方法の周知徹底を求める。

防災安全担当部長 無線の伝わり状況の調査を踏まえ、スピーカーを設置し、伝わり

にくい地域を解消していきま

す。消火器リサイクルの窓口は冊子等で紹介していきます。

成瀬・南町田駅前の土日の放置自転車対策を。人口急増地域である多摩境等の駅前駐輪場の増設を求める。

建設部長 土日の不法駐輪指導等を現在の予算枠の中でできるような考え方をしたいと思っています。多摩境を初めとして駐輪場の収容台数の増加を研究していきます。

当市で執行された選挙について

三遊らん文(まだ新世紀みんな)

選挙で、違法行為を行った候補者に対して、選挙管理委員会はどんな対応をしたのか。

選挙管理委員長 当該候補者及び関係する団体に対して、事実行為の確認の上、中止の指導と捜査機関に対しても取り締まりを要請しました。

本年は「国民読書年」であるが、それに関して当市はどのような対応をとるのか。

生涯学習部長 広報への記

事の掲載や図書館キャラクターの公募等の計画があります。

町田の中心市街地への来街者の動向とそれへの当市の対応はどのようなものか。

経済観光部長 中心市街地の総通行量は前年度比六・二%の減少でした。

広報広聴担当部長 だれもが目的地に行けるよう一〇年度末完成をめどにホームページをリニューアルしています。

災害時協力井戸

いわせ和子(まだ新世紀みんな)

防災協力井戸事業を周知徹底し、子ども達やお年寄りの方達に親しめる標識(シール)を。

防災安全担当部長 協力井戸は、各組織の方に情報を周知し、防災マップで位置を公表しています。また、飲用可の井戸が青、飲用不可を赤のシールで標示しています。

災害時協力井戸の水質検査を年に一度実施を。

防災安全担当部長 二年に

一度実施していますが、年に一回の検査をしている自治体があるとも聞いていますので、今後検討していきます。

災害時協力井戸の要綱の作成を早急に。

防災安全担当部長 現在、井戸の所有者と協力協定を締結して事務を行っています。他市町村等の状況を確認しながら、今後整備に向けて検討していきたい。

防災最先端都市を目指して！

渡辺巖太郎(まだ新世紀みんな)

大規模災害時に発生する水利不足について問う。

防災安全担当部長 大規模災害時の消火用水不足の際の補充については、大和市のコンクリート事業者と消火用水の搬送について協定を締結したいと考えています。

次世代防災リーダーの育成への支援を問う。

防災安全担当部長 児童幼少期からの防災教育の必要性

から、町田消防少年団の育成

支援について、日本消防協会等からの助成制度等の活用を図り支援していきたいと考えています。

市民の文化活動に対する行政の支援体制について問う。

文化スポーツ振興部長 既存の各施設については利便向上に努めるとともに、特殊な条件を要するものについては改めて研究していきたい。

このども準夜急患の施設整備を！

藤田学(志政クラブ)

準夜急患どもクリニックの施設環境整備を求める。

いきいき健康部長 現在の健康福祉会館が手狭であることや駐車可能台数に課題があることは認識しています。今後、町田市医師会なども協議し、研究をしていきます。

障がい者の雇用促進、就労支援のさらなる充実を求める。

の就労適応力の向上、雇用の

確保、就労支援の仕組み等をまとめており町田市障がい者計画で明らかにしていきます。

尾根緑道(常盤町)の車両道における安全対策を求める。

建設部長 横断する歩行者等の安全対策について町田警察署と調整を図り、車両速度の抑制手法を、交通規制なども含めて協働で研究していきたいと考えています。



町田市医師会準夜急患どもクリニック

次世代に誇れる町田を創る

友井和彦(諸派)

夜間休日小児救急医療体制の再構築と保健所政令市移行後の市民負担年間五・四億を都が負担するよう求める。

いきいき健康部長 医療体制については医師会、市民病院と連携して行っており、今後とも研究して行きます。

驚北副市長 保健所の土地及び建物については無償譲渡の方向で合意しました。

放課後の居場所「まち

とも」事業の拡充や学校や公

共施設への「緑のカーテン」の設置を求める。

子ども生活部長 一〇年度からは三六校になる予定です。現在三校と協議中です。

学校教育部長 学校の要望を聞きながら進めていきたい。

町田市の事業仕分けの総括と継続的な実施を求める。政策経営部長 事業仕分けの結果は各課で見直しを行っているところです。

悪徳商法から市民を守ろう！

宮坂けい子(公明党)

町田市独自の「悪質な訪問販売お断り」シールを作成し、トラブルに巻き込まれないよう地域全体でのシール大作戦の展開を求める。

市民部長 東京都が作成したシールを活用して、出前講座などで市民に配布をしています。町田市独自のシールの作成配布については前向きに検討していきたい。

広報まちだの全戸配布

や、コンビニ配布を求める。

広報広聴担当部長 費用等の問題もありますので、今後研究していきたいと考えています。

抗生物質の効かない肺炎球菌に効果的な、肺炎球菌ワクチン接種の公費助成を。いきいき健康部長 国の動向を見守りつつ、公費助成のあり方について考えていく必要があると認識しており、引き続き検討していきます。

公共下水道事業

市川勝斗(まだ新世紀みんな)

下水道管の長寿命化施策について問う。

上下水道部長 準備として二〇〇九年度からテレビカメラによる下水道管の状況調査を行っています。これらの調査結果をもとに長寿命化計画を策定していきます。

下水道事業の今後の方針について。

上下水道部長 公共下水道

の整備は二〇一三年度におお

むね終了します。今後は老朽

化した下水道管の長寿命化に向けた事業に取り組んでいきます。

市民病院への交通アクセスについて問う。

都市づくり部長 例えば旭町の交差点から町田街道に入って市民病院正門のほうに通るようなルートができないかというところも含めて、路線バス事業者と協議していきたいと考えています。

石阪市政四年間

若林章喜(まだ新世紀みんな)

地域主権の考え方を問う。

市長 地域主権という言葉ができてまだ二、三年ですが、単純に言えば財源と権限をセッ

トで地方政府に渡すという意味だということです。

町田市北部の丘陵地域の発展に向けて、今後の取り組みを問う。

合いを築しめる町田ならではの

新たな里山の創造を目指していきたいと考えています。

民間から登用した担当部長について、これまでの成果と今後の取り組みを問う。

総務部長 専門性を備えた民間人を任用することにより行政課題への円滑な対応、組織全体の活性化を図ってきました。導入後の検証を行い、今後の民間人登用の可能性について検討します。

浜副市長 地域資源を活用し、人々が農や自然との触れ